



「移民画家 半田知雄の世界」

二宮家ブラジル移住60周年記念コレクション

日ブラジル外交関係樹立120周年記念特別展示

2015年
6月6日(土)
～
7月5日(日)

開館時間
10:00～18:00
[入館は17:30まで]

休館日:月曜日
(祝日の場合は翌日)

入場
無料



JICA 横浜 海外移住資料館



レジストロの風景
キャンバスボードに油彩 60×70cm 1973年

半田知雄は1906(明治39)年、青森県八戸市で生まれ、1917(大正6)年、11歳で父母と共にブラジルへ移住。コーヒー農園で働きました。1921(大正10)年、14歳でサンパウロ市に出て日本語新聞「ブラジル時報」の文選工[※]として働きながら日本語とポルトガル語を学び、絵の修行を始めます。1935(昭和10)年サンパウロ美術学校を卒業し、画家を志す日系の仲間とサンパウロ美術研究会(聖美会)を結成。移民の生活を題材にした作品を多く残し、その作品は絵画作品として優れているだけでなく移民研究の史料としても高い評価を受けています。また、ブラジル日本人移民史研究者として、『今なお旅路にあり』、『移民の生活の歴史』、『ブラジル日本移民史年表』などの著作も残しました。

JICA横浜海外移住資料館が、サンパウロ大学教授の二宮正人氏より寄贈を受けた、半田知雄の油絵作品19点、同時代の日系人画家高橋吉左衛門、大竹富江らの作品あわせて26点を展示し、ブラジルで日本人が貢献した分野として、農業と並び称されるほどの評価を受ける日系芸術家の足跡を紹介します。

※文選工：活版印刷で文章を作る活字を活字棚から拾う仕事

二宮正人氏 特別講演「私とブラジル」

開催日時:6月21日(日) 14:00~15:30

会場:JICA横浜 4F

ブリーフィング・ルーム かもめ
(入場無料・予約不要)

二宮正人

1953年5歳の時、両親とブラジルへ移住。サンパウロ大学法学部および文学部卒業後、東京大学法学部で博士号を取得。ブラジル・サンパウロで弁護士、サンパウロ大学法学部教授。伯日比較法学会設立メンバー。91~2003年ブラジル日本文化協会副会長兼移民史料館運営委員長。92年以来CIATE国外就労者情報援護センター理事長として、ブラジル日系人の日本就労に係る問題に取り組んでいる。2013年が、自身のブラジル移住60周年となるのを機に、所有する半田知雄の油絵作品を中心とするコレクション26点をJICA横浜海外移住資料館へ寄贈した。

日ブラジル外交関係樹立120周年記念特別展示

「移民画家 半田知雄の世界」

二宮家ブラジル移住60周年記念コレクション

●会場: JICA横浜 海外移住資料館 [企画展示室]

〒231-0001 横浜市中区新港 2-3-1 Tel: 045-663-3257

Web: <http://www.jomm.jp/> E-mail: info@jomm.jp

●交通案内: みなとみらい線「馬車道」駅(4番出口)から徒歩約8分

入場
無料

